

平成30年8月30日

松阪市議会議長  
中島清晴様

無所属の会・みらい 海住恒幸  
西口真理  
田中正浩

## 議員研修会参加報告

平成30年8月18日(土)に名古屋市で開催されたセミナーに参加してきましたのでご報告いたします。

- 日時 平成30年8月18日(土) 13:30～16:45
- 会場 ウィンク愛知(愛知県産業労働センター)
- 研修会の名称 議員力研究会 公開セミナー 2018  
「決算審査が自治体を変える！～財務データを使いこなそう～」
- 参加者 主に市町村議員39名
- 主催 議員力研究会 (海住、西口所属)

### 【開催趣旨】

昨年、議員力研究会が開催した「新地方公会計制度の導入、何が変わる？どう活かす？」の続編のセミナー。地方自治体は、1.発生主義・複式簿記、2.「固定資産台帳」の整備、3.比較可能性の確保の3点を促進する「統一モデル」による財務書類を昨年度末までに作成することを国から求められ、それぞれの議会でもこれに基づいた決算審査が本格化する。

主に自治体議員を対象とする本セミナーは、健全な自治体運営に寄与する決算審査が行えるよう、前習志野市会計管理者の宮澤正泰氏から財務データの分析の手法を具体的に学ぶとともに、参加者どうしのグループ討議を通して新公会計制度への理解を深める事を目的とするものである。

### 【プログラム・内容】



## 1. 講演 13:30～

◇テーマ 「財務データの分析は行政改革の突破口～あなたのまちは大丈夫～」

◇講師 宮澤 正泰 氏

(宮澤公会計研究所代表、株式会社システムディ公会計ソリューション 部顧問、  
前習志野市会計管理者、地方監査会計技能士(CIPFA Japan)、  
1級ファイナンシャル・プランニング技能士)

まず押さえる基礎データとして、「決算カード」「財務書類4表」の数字についての説明があり、それを基にした自治体財務分析の10指標の意味、算定方法の説明を受け、実際の H28年度の自自治体の数字を計算した。10指標は以下の通り。

指標① 人口の推移(増減率)

- ② 住民一人当たりの基準財政需要額
- ③ 面積1km<sup>2</sup>当たりの基準財政需要額
- ④ 基準財政需要額に対する地方税の充足率
- ⑤ 住民一人当たりの負債額
- ⑥ 住民一人当たりの資産の更新費用リスク
- ⑦ 住民一人当たりの行政コスト
- ⑧ 住民一人当たりの資金収支状況
- ⑨ 負債比率
- ⑩ 有形固定資産減価償却率

## 2. グループ討議 15:00～

◇討議テーマ

(1)財務環境(指標①～④)によって財政運営(指標⑦⑧)はどうあるべきか。

(2)将来の資金流出(指標⑤⑥)は現行予算でどのような対応が可能か。

(3)資産を保有することはどういうことか。(指標⑩)



参加者が6グループに分かれ、討論テーマ(1)(2)(3)について、財政分析データ表に基づき自らの自治体の状況、課題について発表、意見交換。

### 3. 発表・質疑・講師コメント 16:10～

各グループの討論内容の発表とそれに対する講師からのコメント

#### 【所感】

新地方公会計制度の導入により財務書類作成が義務付けられ、松阪市でもホームページ等に公表されてはいるが、それが実際に生かされているかは、行政、議会ともにまだまだこれからである。

公会計のポイントは、公共施設やインフラなどの固定資産の評価、減価償却率を見る事により、資産の維持・更新のために財源確保の計画や基金の積み立てをどう長期的に考えていくか。そういった視点を持つことで、おのずと現財政の評価も異なってくる。松阪市は、市町合併により多くの公共施設を抱えており、その老朽化も進んでいると言われ続けているが、実際に財務データから「有形固定資産減価償却率」(老朽化率)を計算してみると、他自治体よりかなり高い%の数字が算出され、現実を客観的な数字で捉える事ができた。方向性としては、公共施設の統廃合は避けられないと思うが、最終的に議会として判断を行う際に、これらの指標が重要な判断材料となると思われる。

今回、財政を評価する新たな指標として、10の指標を学んだが、これらを見る事によって各自治体の特徴や課題はある程度把握する事はできるが、他自治体と比較する事は出来ても、平均値に近ければ良しとするのか、果たしてその数値が妥当(健全)であるのかどうかの判断は難しいと感じた。これらの数字をどう評価し今後の決算審査や予算編成にどう生かしていけるかが課題である。

グループ討論では、人口規模も様々であったが、人口が増加し続けている自治体もあり、都市データバンク財政健全度ランキングひと桁の市から、288位の松阪市、400位代の市、それぞれの状況や取り組み、産業、税収、公共施設マネジメント、基金額等、興味深い話が聞けた。参加者は、財政に関して高い問題意識と知識を持った議員が多く、示唆に富んだ意見も多く聞け、非常に有意義なセミナーであった。まだまだ理解不足な点も多く、公会計を含めた財政の勉強は今後も継続して行って行きたい。

以上